

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 24 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2026 年 2 月 18 日(水)			
開催時間	開会	16:00	閉会	17:10
開催場所	市役所 1 階 101 会議室			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏 OL：政金裕太氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎企画政策課長補佐 村田和也新産業技術推進係長 地域創造課まちづくり推進係 政金僚子集落支援員			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、鈴木孝之氏、細谷啓太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
議事	1、第 9 回「対話・つながり・実現の場」役割分担、準備について 2、日本福祉大学工学部坂口研究室の 2/14(土)ワークショップ報告			

議事項目	概要	次のステップ
1、第 9 回「対話・つながり・実現の場」役割分担、準備について		
司会進行等の役割分担	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭、WG メンバーから今回の「対話・つながり・実現の場」の趣旨説明をしていただくのがよいと思う。これまでの振り返りについては、前回 11/30(日)の「対話・つながり・実現の場」で使用したスライドを活用すればよいのではないか。 <p><司会進行等の役割分担></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の司会進行 ⇒ 黒河内貴氏 ・冒頭趣旨説明 ⇒ 黒河内貴氏 ・これまでの振り返り ⇒ 政金裕太氏 <p>※「冒頭趣旨説明」と「これまでの振り返り」をどこで切り替えるかは、黒河内さんと政金さんで調整いただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラップアップ時の仕切り ⇒ 政金裕太氏 	
会場の配置	<p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場は、501～503 会議室を 3 つ繋げる。第 1 部キーノートスピーチ、第 2 部トークセッションは、501 会議室のスクリーンを背景に椅子のみを並べておこない、第 3 部のグループディスカッション用に 503 会議室側に参加者数に合わせていくつかテーブルの島を設置しておくイメージであるがいかがか。 	

スクリーン	<p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・トークセッションのときは、502 会議室の窓側に講師お二方とファシリテーター3 人が並ぶイメージで会場を横長に使用したい。会場を縦長に使用すると登壇者から遠い参加者が出てしまう。・あらかじめグループディスカッションのテーブルをセットしておき、第1部キーノートスピーチも、第2部トークセッションも参加者がグループディスカッションのテーブルから聴くスタイルはどうか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・501 会議室で第1部キーノートスピーチをおこなっているときに、503 会議室にあるグループディスカッションテーブルに座っている参加者から講師が遠くなってしまうのが気かりである。・一方、グループディスカッションでは参加者がメモをしたり、アンケートも書いていただきたい。模造紙や付箋も用意するので椅子だけでなく机はあったほうがよい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・502 会議室の窓側に講師お二方とファシリテーター3 人が並ぶイメージで会場を横長に使う配置で第1部キーノートスピーチから第3部グループディスカッションまでおこなってはどうか。・第1部キーノートスピーチ、第2部トークセッション、第3部グループディスカッションと会場の配置が変わりすぎて大変だと思う。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・最初に会場を設営したら途中で動かさない方がよいと思って提案したので、特段こだわりがあるわけではない。参加者が見やすく、運営側の負担が少ない会場配置になればよい。 <p><会場の配置></p> <ul style="list-style-type: none">・いくつかパターン案が出たので、参加申込者の状況も考慮しながら、会場設営をする事務局で当日配置を決めることにする。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・第2部トークセッションの際、講師お二方が投影したい資料が出てきた場合に備え、トークセッションの場にも別にスクリーンがほしい。・第1部キーノートスピーチのときには、講師から遠い参加者でも投影資料が見えるように、後方の参加者の近くにもう1台スクリーンを置いてもらえるとうよい。	
-------	---	--

<p>Slido</p>	<ul style="list-style-type: none">・ Slido の質問を拾うためにももう 1 台スクリーンが必要である。○事務局<ul style="list-style-type: none">・ 第 2 部トークセッションでは、講師お二方の投影したい資料用、Slido 用、2 つスクリーンが必要か。○WG メンバー<ul style="list-style-type: none">・ 講師お二方が資料を投影する際は、Slido は見えなくてよい。○事務局<ul style="list-style-type: none">・ Slido の質問はリアルタイムに参加者に見える状況にしておくか。○WG メンバー<ul style="list-style-type: none">・ 自分が質問した内容がリアルタイムにスクリーンに反映されると高揚感がある。○WG メンバー<ul style="list-style-type: none">・ Slido の質問は、「いいね」が多い順と、最新の投稿順の 2 パターンの表示方法があるがどちらにしておくか。○WG メンバー<ul style="list-style-type: none">・ 質問の方向性がズレないように「いいね」が多い順の表示方法がよいと思うが、あえて参加者に「いいね」を押せますという説明はなくてよいと思う。・ Slido の使い方は二次元コード入りの説明資料を受付時に渡すとともに、冒頭にも説明する。	<ul style="list-style-type: none">○Slido 使い方説明資料を事務局で作成する。
<p>グループディスカッション</p>	<ul style="list-style-type: none">○WG メンバー<ul style="list-style-type: none">・ グループディスカッションのグループ分けをどうするか。○事務局<ul style="list-style-type: none">・ グループ分けはなるべく知り合い同士にならないように、ランダムに受付でグループ番号を渡すようにする。○WG メンバー<ul style="list-style-type: none">・ WG 内である程度グループディスカッションの方向性を決めた方がよいと思う。・ 目的は、まちなかエリアで何かアクション起こしたい人の背中を押せる「場」にすること。「やりたい」アイデアを持っている参加者に話をしてもらうのがよいと思うが、話が出なかったときにファシリテーターがどう進めるか。・ 第 1 部キーノートスピーチ、第 2 部トークセッションの内容を踏まえて、「今までの『対話・つながり・実現の場』ではこんなキーワードが出ていますが、伊那市のまちなかではどんな可能性があると思	

<p>講師お二方との まち歩き</p> <p>準備品</p>	<p>いますか?」、「皆さんはどんなことをやられていて、それはどんな連携や協働、共創の可能性が ありますか?」という投げかけをすることになると思 う。</p> <ul style="list-style-type: none">・第3部グループディスカッションで感想を話してい ただくのもアリだが、それだけではもったいない。 すでに具体的に「やりたい」ことがある参加者が第 1部キーノートスピーチ、第2部トークセッション を聴いて、「こんなことが『やりたい』に活かせ る」という話で盛り上がるのが理想である。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・前回 11/30(日)の「対話・つながり・実現の場」に 参加していない方も参加すると思うが、今回は前回 の続編なので、前回「まちなか作戦会議」で挙げら れた「やりたい」ことをヒント集として参加者にお 渡ししてはどうか。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・前回、3グループに分かれて、話を聴いてみたい講 師の方を挙げてもらった。そのとき挙げられた講師 の方は「いつ呼んでくれるのか?」と聞かれると明 確に回答できない。整理して説明できるようにした い。 <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none">・冒頭の今までの振り返りの中で前回 11/30(日)の 「対話・つながり・実現の場」の話もするので、 「こういった経緯から今回の講師お二方をお呼びし た。来年度以降も、話を聴いてみたいと挙げていた だいた講師の方をお呼びした「場」の設定をしてい きたい」と触れてもらえればよいと思う。・逆に「私が話を聴きたいと挙げた講師の方をなんで 呼んでくれないのか?」と言う参加者がいたらラッ キーくらいに思って、その人を巻き込んでいくくら いの気持ちでよいのではないか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・午前中の講師お二方をご案内するまち歩きについて ルート案を作成したが、あくまで参考としていただ いて、臨機応変に寄り道したり、采配はお任せす る。・ルート案はおそらく距離が長いと思うので、最後伊 那弥生ヶ丘高校まで行くのを止めるなどで時間調整 いただければよいと思う。 <p>○WG メンバー</p>	
------------------------------------	--	--

	<p>・ヒント集に加えて、まちなかで何か「やりたい」となったときに使えるような補助金一覧を用意してもらえると参考になる。</p>	<p>○まちなかの「やりたい」に使えるような補助金等一覧を事務局で作成する。</p>
<p>2、日本福祉大学工学部坂口研究室の2/14(土)ワークショップ報告</p>		
	<p>○事務局 ・2/14(土)に創造館で日本福祉大学工学部坂口教授の研究室のワークショップがおこなわれ、約35人が参加した。まちなかエリアをまち歩きし、参加者が気になったスポットをどうしたいかメモを作成した。それを冊子にしてくれる予定である。今後も何回か学生が伊那市をフィールドに活動をしてくれる予定である。</p> <p>○WGメンバー ・日本福祉大学と「対話・つながり・実現の場」で連携できないか。</p> <p>○事務局 ・両者がやっている内容は近く、日本福祉大学の学生は外からの目線、若者の目線を持っている。さらに建築学科なので何かしらの形にしていくという視点も持っている。お互いにとってメリットのある形で連携できればよいと思う。</p> <p>○WGメンバー ・例えば学生の研究発表の場に市民の方にも参加してもらい、学生を講師とした「対話・つながり・実現の場」としてコーディネートするのも面白いのではないか。</p> <p>○WGメンバー ・2/14(土)のワークショップの結果をまとめて、次回ワークショップ等の計画を立てるのだと思うが、学生が伊那で何を見て、どこに注目しているかを共有してもらったり、その「作戦会議」を一緒にやったりできれば面白い。</p>	

■今後のスケジュール

<第9回「対話・つながり・実現の場」>

(まち歩きによる講師お二方へのまちなかの説明)

・2026年3月1日(日)9:00~11:00 伊那市生涯学習センターいなっせ 1階ホール集合

(「対話・つながり・実現の場」)

・2026年3月1日(日)13:00~16:00 12:30 開場 伊那市生涯学習センターいなっせ 5階会議室